



一般国道8号 津幡北バイパス全線開通！

石川と富山を結ぶ国道8号津幡北バイパスの津幡町刈安～倉見間がもうすぐ開通し、津幡北バイパスが全線開通となります。

◆開通日◆

平成20年 3月15日（土）

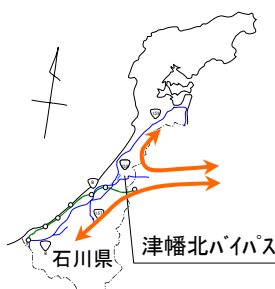
※開通時間等の詳細については、後日決定後お知らせします。

◆今回の開通区間について◆

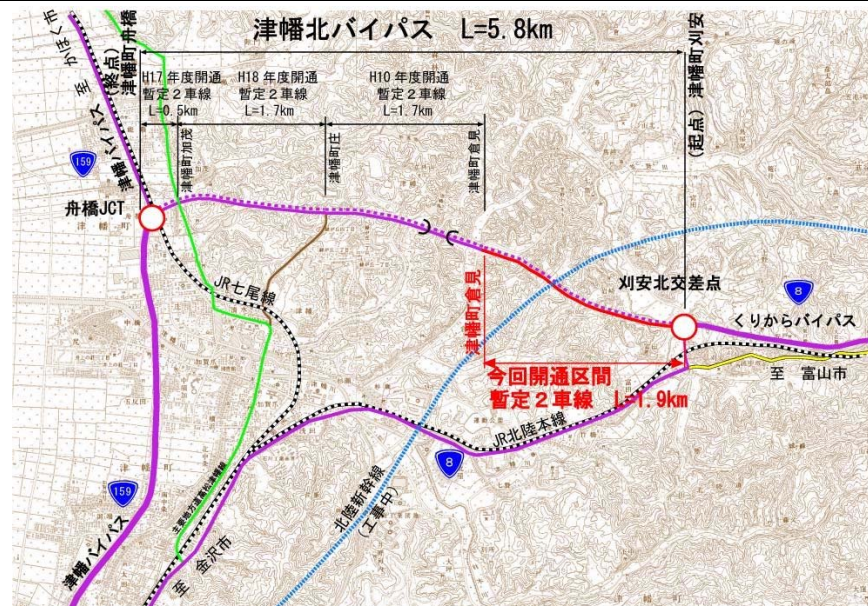
津幡町刈安～津幡町倉見 L=1.9km（暫定2車線）

◆津幡北バイパスの全線開通により期待される効果◆

- ①津幡北バイパスの開通により、国道8号は、富山県境から加賀市までがバイパスからなる広域的なネットワークとして繋がるとともに、能登方面と富山方面のネットワークも強化されます。
- ②津幡町刈安～金沢市今町までの走行時間が、津幡北バイパス・津幡バイパスを利用することで、現在より8分も短縮されます。
- ③さらに、現国道8号の交通が津幡北バイパスに転換されるため、現国道8号の浅田交差点や津幡検問所前交差点では渋滞が解消されます。この結果、津幡町刈安～金沢市今町までの走行時間が約3分短縮されます。
- ④渋滞緩和により、自動車の燃費が向上するため、CO₂（二酸化炭素）の排出が約-3,900t-co₂/年（兼六園約60個分の森林の吸収量）削減され、地球温暖化防止にも貢献します。
- ⑤平面交差点の少ない道路が整備されることにより、津幡町刈安～金沢市今町までの交通事故（死傷事故）の減少が期待されます。（約12件/年の削減）



津幡北バイパスにより
広域ネットワークが強化されます



問い合わせ先：

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課長
TEL 076(264)8800（代表）

むかいだ みつる
向田 満

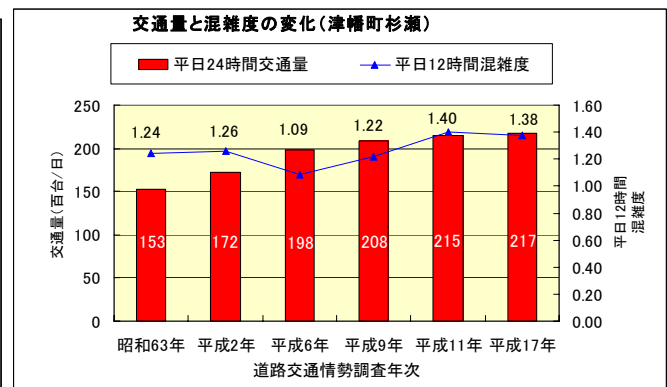
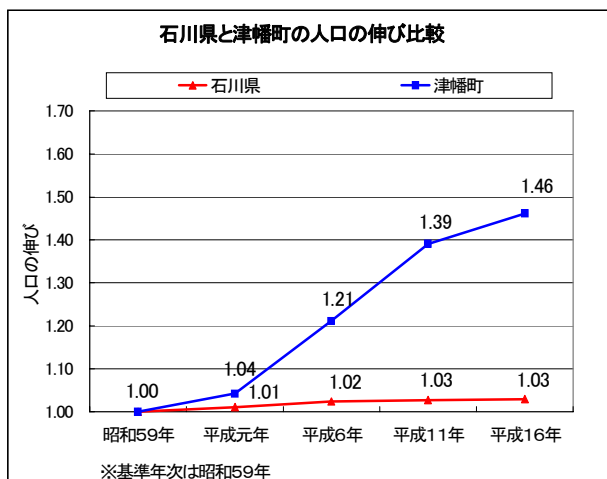
【参考】

1. 事業実施の背景

- 一般国道8号津幡北バイパス(L=5.8km)は、石川県河北郡津幡町刈安～同町舟橋に位置しています。
- 津幡町は、金沢市に隣接しているため人口増加が著しく、津幡町内の現国道8号の交通量も増加の一途をたどっています。また、県境が近いこともあり大型車交通量が多く、道路幅員が狭いため交通混雑とこれに伴う交通安全上の問題が生じています。



津幡町刈安交差点の混雑状況



平成17年度 道路交通状況調査

	金沢河川国道事務所管内平均	津幡町杉瀬
大型車混入率	14.4%	29.8%

2. これまでの経緯

- ・昭和59年度 事業化
- ・平成 3年度 工事着手
- ・平成18年度までに3.9kmを開通済
- ・平成20年 3月15日 津幡町刈安～津幡町倉見(延長1.9km) 今回開通

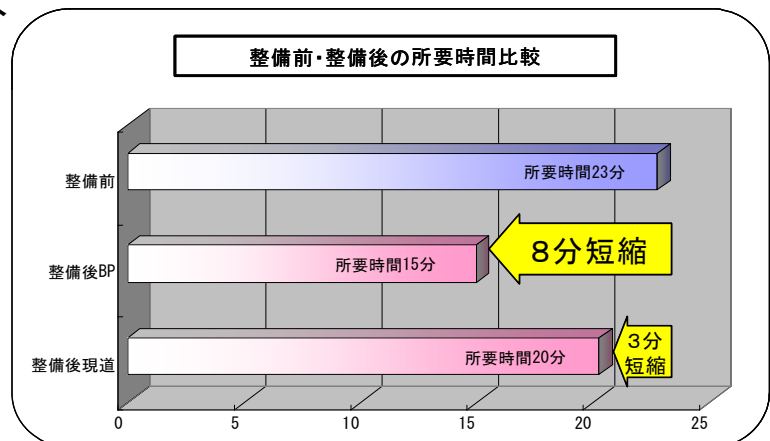
3. 津幡北バイパスの全線開通により期待される効果

○現国道8号の交通渋滞の緩和

津幡北バイパスが全線開通することにより、現国道8号の交通が津幡北バイパスに転換し、現国道8号の交通渋滞が緩和されスムーズに走行ができます。



現国道8号から津幡北バイパスへ交通が転換！



例えば、津幡町刈安～金沢市今町までだと、8分も短縮！

※上記の所要時間は推計値です。

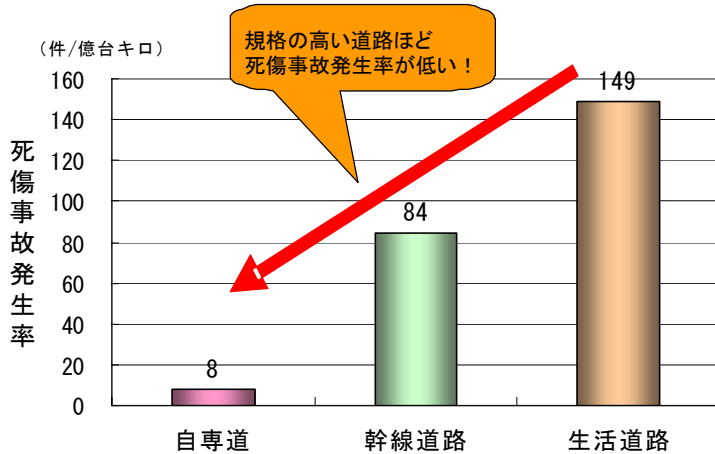
○死傷事故発生率の低減

平面交差点が少なく、沿道からのアクセスが制限された規格の高い道路の整備により、死傷事故発生率の低減が期待できます。

津幡北バイパスが全線供用すると…

対象路線：現国道8号・津幡北バイパス・
国道159号津幡バイパス

対象区間：津幡町刈安～金沢市今町までの区間



約100件/年

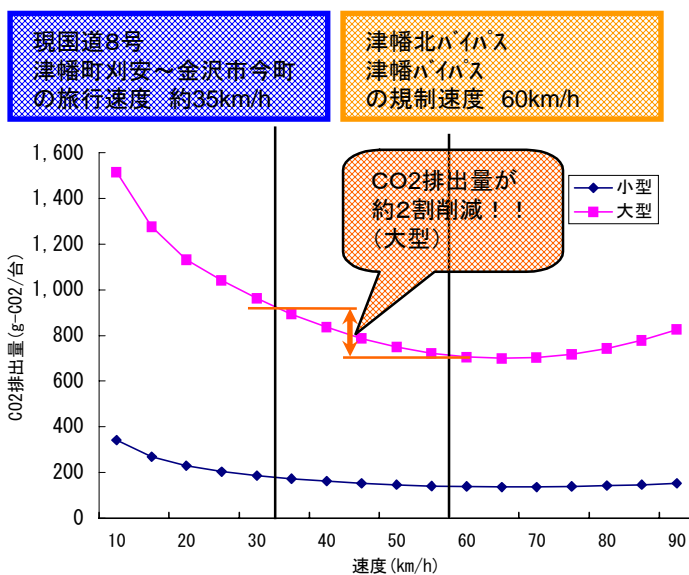


約88件/年

※上記の事故件数は推計値です。

○CO2排出量の低減

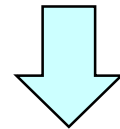
渋滞緩和により自動車の燃費が向上するため、CO₂(二酸化炭素)の排出量が削減され、地球温暖化防止にも貢献します。



自動車1台当たりの走行速度とCO₂排出量の関係

**津幡北バイパス供用により
金沢都市圏では…**

約3,900 t-CO₂/年



兼六園約60個分の森林吸収量に相当

※上記のCO₂削減量は推計値です。

津幡北バイパスの全線開通により現国道8号の通過交通がバイパスに移り、沿線で朝夕の通勤時間帯や休日が発生している渋滞が解消されます。

